

TWO STEPS FORWARD,
ONE STEP BACK

どんな辛い道でも前に進む (後編)

株式会社シンニッタン 結城工場

村上 ウィリアム



休みの日は、大洗や鹿嶋へ釣りに行きます。その日によって狙いは異なりますが、平目やイナダなどを釣ります。もちろん、釣った魚は自分で捌き、刺身やバターソテーにして食べます。最近、同僚とエリアトラウト（管理釣り場）で鱒釣りを楽しんだりしています。



大漁です！

お酒も大好きです。ビールやウイスキーなどを好んで飲みますが、ブラジル流の飲み方は、ビールを冷凍保存することです。ブラジルの飲食店では、マイナス2°Cに冷凍庫が設定されており、キンキンに冷やした状態で提供されます。

また、ブラジルといえば「シュラスコ」ですね。牛肉を串焼きにして、キンキンに冷やしたビールがあれば最高です。

ちなみにブラジルにおける乾杯の音頭は「〇ン〇ン！」です（笑）。

ただ、ブラジルのテーブルマナーは日本と異なる点があるので、ブラジルに行く際は注意が必要です。

食事の際、食べ物を直接手で触れるのは基本NGです。ただ、これはケースバイケースなので、カジュアルなお店であれば問題ないケースがほとんどですが、フォーマルなお店では注意が必要です。

また、欧米や日本では、左手にフォーク、右手にナイフを持つのが一般的ですが、ブラジルでは逆手に持つことも珍しくありません。



河原でシュラスコ

そして、ブラジルといえばサッカー！

サンパウロ州にはいくつかのプロサッカーチームがあり、その中でもSCコリンチアス・パウリスタ、サンパウロFC、サントスFC、そしてSEパルメイラスは「BIG4」と呼ばれています。

特にSEパルメイラスは日系ブラジル人のファンが多く、私も熱狂的なパルメイレンセ[※]の一人です。

ブラジルでは日本同様、クラブチームや学校の部活動などでサッカーをプレーしますが、なんといってもストリートサッカーが盛んです。

広場とボールさえあれば、どこでもサッカーができる、それがストリートサッカーの魅力です。それこそゴールがない場合は、靴をゴールの枠代わりにしたこともあります（笑）。

ちなみにFIFAワールドカップでは、ブラジルと日本を応援しています。ブラジルと日本が対戦したら？その場合はどちらも応援します。日本での生活も長いですからね。

最後に、大切にしているお国のことわざを紹介したいと思います。

「Depois da tempestade sempre vem a bonança.」（嵐の後には、波も静まる。）

意味は「状況が悪くても、いつかは幸福が訪れる。」です。

ちょっとした出稼ぎのつもりが、気づけば日本に来て28年が経過しました。

困難な時期もありましたが、今は妻・娘とともに幸せな日々を過ごしています。

「Obrigado!」（ありがとうございました。）

※ SEパルメイラスのファン